INFORMATION & OTHERS

ゼッケンの色と数字に注目 ゼロナンバーも応援してね！

コロナ禍で翻弄され続けた３年間。ようやくモトクロス本来の姿で開幕戦が九州の地に帰って来ました。モトクロスが大好きなみなさんにとっては半年ぶりの全日本。でも中には初めて観戦する方も少なからずいらっしゃると思います。

全国から集まったトップライダーたちのスピードとジャンプの迫力、随所で繰り広げられる抜きつ抜かれつのバトルをまずは楽しんでください。



次のポイントはマシンとゼッケンの色。赤はホンダ、青がヤマハで黄色がスズキ、カワサキは緑。でもよく見るとオレンジの KTM と白のハスクバーナ、GASGAS というメーカーはホンダと同じ赤い外装だったりします。

ゼッケンは白地が IA1、黒字が IA2、青が IB... なんですが、レディースも白地だし、よく見たら IA1 にも IA2 にも赤いゼッケンが混じってますよね。これは前年度トップ 10 のライダーだけが付けることを許されるプレミアムカラーなんです。ゼッケンの数字は去年のランキング順なので、赤は強い、数字の若いライダーは速いと覚えてください。

あれれ、黒ゼッケン IA2 には 02～010 のライダーがいますね。彼らは今年 IA クラスに昇格したばかりのルーキーたち。新人生だと思ってください。みんな先輩の迫力に押されてドキドキしています。スタートの前なんか正に口から心臓が出ちゃうんじゃないかってくらいドキドキになってるハズ。応援が何より力になります。見かけたら落ち着いて頑張れよって励ましてあげてください。

それで気になるライダーが見つかったらプログラムをチェ～ック。全体を見ようとすると誰がどこでどれがなにやら分からなくなってしまうので、慣れるまでは誰か一人に的を絞って観戦すると、レースの展開が良くわかると思います。

スタートして赤ゼッケンライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかって思えるし、そうじゃない、大きな数字や IA 昇格を果たしたルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって分かりますよね。

声を出しての応援 OK 声援がレースを盛り上げます

今シーズンから入場の際の検温や問診、マスク着用やソーシャルディスタンスの確保のお願いなど、コロナ感染対策は全てなくなりました。

表彰式は本部棟横のステージではなくスタートゲート後方で行われますが、レース毎ではなく、土曜日のレース終了後と日曜日は午前のレース終了後、午後のレース終了後と3回に分けてまとめて行われる表彰式が、今回は一般のお客さんにも解放されます。ぜひ応援したライダーにおめでとうの掛け声を送ってあげてください。シャンパンファイトの飛沫も浴びることが出来ちゃいますよ。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスはこの新聞の1番下に QR コードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずです。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、基本土曜日は各クラスの練習走行、予選、ジュニアクラスと IB Open Heat1 の決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝と、レースは朝から夕方まで延々と続きます。

練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ず～っとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。ポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているハズだし、メーカーチームのサイン会も今回から復活するハズです。

直接パドックにライダーを訪ねたり差し入れに行ったりするのも OK です。ただ、中には気にする人もいるかと思うので、ライダーやスタッフさんに話しかける時は、「マスクした方がいい？」って一言聞く気遣いはあっていいのかなって思ってます。

スタート看板後方の各社出店や展示ブースも必見です。スタートゲートやサインエリアでは、メカニックさんの仕事ぶりも見学出来ます。コースを移動しながら最適な観戦ポイントを探してください。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアーの中に着けている装具なども出店ブースでぜひご覧になってください。

今シーズンも LINE でお届け MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの現地情報を中心に画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MXING」ですが、今年も LINE 公式アカウントを使って配信しています。シーズン中、更なるバージョンアップを予定しているんですが、料金は基本タダ（笑）。現地情報からレース後の裏話などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。みなさんぜひお気軽にご登録ください。

編集後記

IA1 クラスでの頂上対決に新たな海外選手の参戦…。いつも以上に見どころ満載な開幕戦ですが、1 番大きなニュースは実は IA2 溝口親子の同クラス出場ではないかと思ってます。現役時代はカワサキのエースとして大活躍した哲チャンこと溝口哲也選手と、学業とレースを両立するため九州選手権から IA 昇格を果たした溝口寿希也選手。親子で同じレースに参戦するだけですごいことですが、IA クラスで両者が決勝で戦うことになれば正に史上初の快挙。共に福岡からのエントリー。九州の MX 熱はやっぱりアツイです !!

MXING & MC Square 木田 淑





RIDING SPOT
PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878



全日本モトクロス新聞
MXING MOTOCROSSING
制作・発行／MC Square 木田 淑
〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間田中62
Tel. & Fax. 050-1536-5147
E-mail: kida@mxing.com
HP:http://www.mxing.com
出力・印刷／東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町6-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:http://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎開催・無料



2023 SEASON 開幕!!

PREVIEW-HSR KYUSYU

'23シーズン初戦を制するのは果たして誰だ!? 4年ぶりにマスク不要+声出しOKとなった開幕戦。全国から集まったライダーたちにコースサイドから熱い声援を送ろう!! *Photo/K.Kida*

D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2023開幕戦は4月8～9日に熊本県菊池郡大津町のHSR九州オフロードコースで開催される。昨シーズン、開幕から安定した強さでIA1クラスを制した富田俊樹とIA2クラスで日本人ライダーを完全に圧倒したJ.ウィルソンが、国内最高峰クラスで激突する。王者不在となったIA2、IB Open、LMXは誰がリーダーに名乗りを上げるか。最初に笑うライダーは誰!? シーズン初戦の激しく熱いバトルと感動のドラマを見逃すな!!

白熱のバトルで盛り上がろう!
1.トップライダー&地元選手をチェック!
2.お気に入りのライダーを一人見つける!!
3.モトクロスだけの横一線スタートに全集中!!!
4.頑張る選手を全身全力で応援しよう!!!!

富田、能塚、渡辺の3強に大城、大倉、内田が挑む!

IA1、IA2 クラスともに決勝 3 ヒートのスプリントレースで行われる今シーズンの開幕戦。国内最高峰 IA1クラスでは、昨シーズン開幕戦をパーフェクトで制すと 16 ヒートを戦って 8 勝をマークして初の頂点に立った**富田俊樹**（#1 ／ヤマハ）が連覇に挑む。

ゼッケン 1 を纏う富田に挑むのは、同じヤマハの**ジェイ・ウィルソン**（#27）だ。勝つため体制を整えたレースチーム所属の富田と開発を担うウィルソンは立場こそ違うが、昨シーズン IA2 クラスであわやパーフェクトという桁違いの実力を見せたウィルソンのライディング技術は正に世界レベル。スタートから一瞬たりとも気を抜けないスプリントバトルで、両者がどんな戦いを見せるか先ずは注目したい。

もちろん開幕戦で勝利を狙っているのは二人のチャンピオンだけではない。昨シーズンは 1 勝のみと不本意な結果に終わるもランキングを 2 番手まで押し上げた**能塚智寛**（#2 ／カワサキ）。逆に 2 勝を挙げながらランキングでは 3 番手に甘んじた**渡辺祐介**（#4 ／ヤマハ）。さらにシーズン中盤怪我による離脱があったものの、最高峰クラス初年に 2 勝をマークするなど、台風の目となった**大城魁之輔**（#4 ／ホンダ）。**大倉由揮**（#6 ／ホンダ）、**大塚豪太**（#7 ／ホンダ）、**内田篤基**（#8 ／カワサキ）らにとってもトリプルヒート制で行われるレースは上位進出の可能性は十分にある。ベテラン勢では**小方誠**（#5 ／ホンダ）と**小島庸平**（#10 ／ホンダ）がどこまでトップに迫れるか期待したい。

チャンピオン不在の IA2 は群雄割拠の大混戦模様 !?

昨シーズン日本の若手を完全に圧倒して無敗のままチャンピオンとなった**ジェイ・ウィルソン**が IA1 クラスにステップアップしたことで王者不在となった IA2 クラスは、混戦の中から誰が抜け出してくるか注目が集まる。

そんな中、怪我からの完全復活を果たし、何度も上位でのバトルに加わってランキング 2 番手に浮上して見せたのが**浅井亮太**（#2 ／ヤマハ）だ。一方で IA 昇格 2 年目の18歳ながら、5 度も表彰台に立つ大物ぶりを見せてランキング 3 番手に食い込んだ**柳瀬大河**（#3 ／ホンダ）。若手と言えば今年もクラス最年少となる**田中淳也**（#17 ／ヤマハ）も成長が楽しみなライダーだ。

他にも**中島漱也**（#4 ／ヤマハ）、**鈴村英喜**（#7 ／ヤマハ）、**西條悠人**（#8 ／カワサキ）と 20 代のライダーがひしめく中、IA1 で走った経験をもつ**横澤拓夢**（#5 ／ホンダ）も虎視眈々とタイトルを狙っているはずだ。スペインの若手**ビクター・アロンソ**（#58 ／ヤマハ）もどんなレベルの走りを見せてくれるか楽しみだ。

川井の快進撃はどこまで続く 女王３人の対決にも注目

昨シーズンは**久保まな**（#1 ／ホンダ）と**川井麻央**（#2 ／ホンダ）が共に 2 勝で同点。川井の 2 位 1 回に対し 2 位 2 回で久保が初のタイトルを手にするも、シーズン終了後に久保は引退を表明。そのためこちらもエース不在のシーズンとなったレディースクラス。

実力の上では 2 度のタイトル経験を持つ川井が抜き出た存在となるが、ここに**本田七海**（#4 ／ヤマハ）、マシンをホンダにスイッチした**楠本菜月**（#5）、13 歳の**川上真花**（#7 ／ヤマハ）、15 歳の**瀬尾柚姫**（#8 ／ホンダ）、16 歳の**濱村いぶき**（#17 ／ホンダ）らがどんな戦いを挑むか注目したい。

国際 A 級昇格を目指す IB Open クラス、未来のスターライダーの宝庫、ジュニアやチャイルドクラスにもぜひ注目して欲しい。レース中ただ漫然と走りを見るのではなく、誰か一人のライダーに注目するとスタートの出遅れや転倒、そこからの追い上げなどレース中のドラマに気付いてレースが何倍も面白くなる。公式プログラムで各ライダーのゼッケンやマシンの色、出身地などをチェックし、地元ライダーやルーキー選手には特に温かい応援を送って欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2023スケジュール

第1戦	HSR九州大会	4月 8～9日	熊本県／HSR九州
第2戦	関東大会	5月 13～14日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第3戦	SUGO大会	6月 3～4日	宮城県／スポーツランドSUGO
第4戦	中国大会	6月 24～25日	広島県／世羅グリーンパーク弘楽園
第5戦	北海道大会	7月 30日	北海道／新千歳モーターランド
第6戦	近畿大会	9月 9～10日	奈良県／名阪スポーツランド
第7戦	HSR九州大会	10月 8日	熊本県／HSR九州
第8戦	関東大会	10月 28～29日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第9戦	MFJ-GP	11月 11～12日	宮城県／スポーツランドSUGO

D.I.D 全日本モトクロス選手権 第1戦 HSR九州大会 開催おめでとうございます。
HONDA YAMAHA Revs Your Heart SUZUKI

左のQRコードは、今大会のライブタイミングリザルトとライブ動画配信のダイレクトリンクです。また右のQRコードアクセスすると、タイムスケジュール、予選結果（決勝スターティンググリッド）、リアルタイムリザルト（決勝結果）の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。